

7町・広域連合会 次世代の会 団体説明資料

2023年3月11日現在



7町・広域連合会 次世代の会

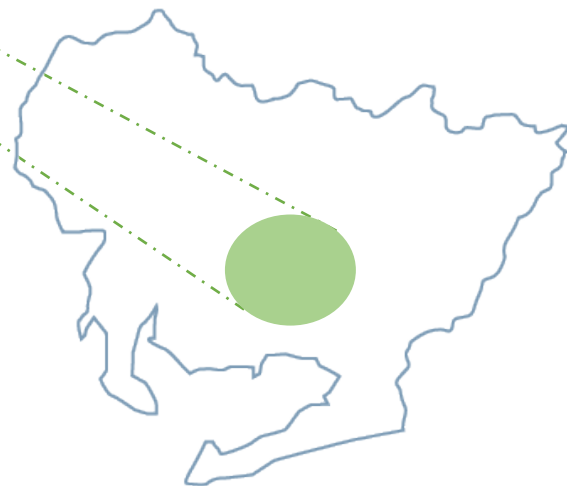
1. はじめに	・ ・ ・ ・ ・ P 1
1. 岡崎市 概要	
2. 「QURUWA戦略」について	
3. 7町・広域連合会 エリアの特徴	
2. 沿革	・ ・ ・ ・ ・ P 2
3. 発足と経緯	・ ・ ・ ・ ・ P 3
・ 7町・広域連合会の誕生	
・ 7町・広域連合会とKCBMができるまで	
4. KCBMとは	・ ・ ・ ・ ・ P 4
・ 7町・広域連合会 ≡ KCBM	
・ KCBMでの議論されている主な内容	
5. 7町・広域連合会 加盟町エリア	・ ・ ・ ・ ・ P 5 – P 7
・ 7町・広域連合会加盟町データ	
・ 7町・広域連合会・次世代の会 活動内容	
・ 7町・広域連合会 加盟町MAP	
6. まちの変化と世代交代	・ ・ ・ ・ ・ P 8
・ まちの変化	
・ 地域自治の世代交代	
7. 次世代の会とは	・ ・ ・ ・ ・ P 9
・ 次世代の会の誕生	
・ 次世代の会が設立されるまで	
8. ビジョン	・ ・ ・ ・ ・ P 1 0

1. はじめに

岡崎市 概要

岡崎市は愛知県中央部に位置し、中核市、中枢中核都市に指定されています。また、**徳川家康の生誕地**や**八丁味噌の産地**として知られています。市域の北から南に矢作川が、東から西に乙川が流れています。その水源として市域の約6割にのぼる森林を有し、豊かな水環境と自然環境に恵まれた地にあります。交通は広域利便性に優れ、JR東海道本線、名鉄名古屋本線及び愛知環状鉄道線の鉄道網や、東名高速道路、新東名高速道路、国道1号、国道248号、国道473号の幹線道路網により、周辺都市や名古屋市との連携が図られています。

岡崎市の面積	387.20km ²
岡崎市の人口 (R3.4.1現在)	385,823人
世帯数 (R4.2.1現在)	166,410世帯



「QRUWA戦略」とは

乙川リバーフロント地区（RF地区）の名鉄東岡崎駅、乙川河川緑地、（仮称）乙川人道橋、中央緑道、籠田公園、りぶら、岡崎公園などの公共空間各拠点を結ぶ約3キロのまちの主要回遊動線のことです。かつての岡崎城跡の「総曲輪（そうぐるわ）」の一部と重なること、また、動線が「Q」の字に見えることから命名されました。乙川リバーフロント地区内の豊富な公共空間を活用した公民連携プロジェクトを実施することにより、QRUWAの回遊を実現させ、波及効果として、まちの活性化（暮らしの質の向上・エリアの価値向上）を図る戦略の事を指します。また、この取り組みは新しいまちづくりのモデル都市に選ばれました。（令和3年3月31日）※岡崎市「QRUWA戦略」～乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり基本計画～より抜粋

岡崎市のQRUWA戦略について詳しく知りたい方は下記QRコードから各ホームページをご覧ください。



ロゴマーク



都市施設課
QRUWA戦略係



quruwa.jp

1. はじめに

7町・広域連合会 エリアの特徴

岡崎市の中心市街地（康生地区）は、家康公生誕の地である岡崎城の城下町、東海道の宿場町を基盤として発展し、西三河の中心として賑わった場所です。

地域の性質

住んでいる人 = 商いをしている人

戦後の戦災復興土地区画整理事業や昭和40年代後半に全国に先駆けて行われた康生地区市街地再開発事業により現在の都市基盤が確立され、大規模な商業集積が生まれて、活発な経済活動が展開される中で、人のつながり、交流、コミュニティ、新たな地域文化が生まれ、岡崎市の顔として市民に認知される場所となりました。当時は、西三河地域における主要な商業集積が岡崎市の中心市街地（康生地区）であったために、周辺市町村からも岡崎市の康生地区に買い物に来ており、商業機能として西三河地域の広域拠点の役割を担っていました。



平成23年3月「岡崎市中心市街地活性化ビジョン（康生・東岡崎周辺地区）～岡崎市中心市街地活性化基本計画再構築～」
<https://www.city.okazaki.lg.jp/1300/1303/1325/p008631.html> より抜粋



昭和40（1970）年代に全国に先駆けて再開発が行われ、2000年初頭までは人通りも多く活気にあふれた街並みだったが1995年にジャスコ南店、2000年にイオンショッピングモールの開業とともに中心市街地の空洞化が目立つようになりました。

- ① セントラルパークビル 【昭和47（1972）～平成23（2011）】
- ② 松坂屋クレオ 【昭和46（1971）～平成22（2010）】
- ③ 名鉄メルサ 【昭和58（1983）～平成17（2005）】
- ④ スポーツガーデン 【昭和43（1968）～平成15（2003）】

2. 沿革

- ・ モータリゼーションの進展、大規模集客施設の中心市街地外への立地、岡崎市民病院などの公益施設や行政機能の拡散
- ・ 中心地としてのポテンシャル（人・モノ・金・情報の集積力）が低下
- ・ 中心市街地側として顧客・消費者のニーズ対応や必要な変革に取り組んだが、離れていく人を引き止めることができなかつたと考えられる
- ・ 来街者の減少を始め消費者等の支持が低下し、「まちの顔」としての市民の認識も薄れていったと考えられる
- ・ **中心市街地の衰退、空洞化の現象がおきる**

～2011年

2015年

- 8月 岡崎デザインシャレット
プロジェクトA：中央緑道再生計画

2018年

- 10月 **第1回籠田公園 地域住民ワークショップ**



2020年

- 3月 桜城橋 供用開始
11月 防災フェア開催



2014年

- 3月 乙川リバーフロント地区基本方針策定

2016年

- 1月 **中央緑道検討会議**
8月 乙川リバーフロント地区
まちづくりデザイン会議
QURUWAの呼称誕生



2019年

- 4月 第1回籠田公園夏祭り実行委員会
7月 籠田公園リニューアルオープン
8月 籠田公園夏祭り（盆踊り）開催
11月 第1回広域自治会連合発足説明会
会議開始
11月 東岡崎駅ペDESTリアンデッキ通行開始
11月 OTO RIVERSIDE TERRACEグラウンドオープン



2021年

- 3月 中央緑道 供用開始
4月 7町・広域連合会の会議名称を**籠田公園・中央緑道・桜城橋マネジメント検討会議へ変更**
7月 7町・広域連合会 次世代の会発足

1. 平成23年3月「岡崎市中心市街地活性化ビジョン（康生・東岡崎周辺地区）～岡崎市中心市街地活性化基本計画再構築～」より抜粋。
2. 「<https://quruwa.jp/>」より抜粋

3. 発足と経緯

7町・広域連合会の誕生

きっかけは

籠田公園と中央緑道の再整備

「中央緑道検討会議（2016年）」、「新しい籠田公園と関わるワークショップ（2018年）」に公園と緑道に隣接する町内（合計7町内会）の方々に参加が呼びかけられ、ワークショップに参加された地域役員の方から「籠田公園が新しくなるのであれば、久しぶりに盆踊りをやりたい」という思いから、賛同する籠田公園周辺の3町内が動き出し、さらに中央緑道に隣接する町内会にも共感の輪が広がったことで、**2019年夏には7つの町内会が協働して盆踊りを復活**させました。このつながりが更に輪を広げ、今や学区の枠を超えた20程度の町内会がつながる広域連合へと発展しました。

7町・広域連合会とKCBMができるまで

1. 2019年 籠田公園協議会準備会

近隣住民にとどまらず、地域外からイベントが持ち込まれ、キッチンカーによる営業行為が推奨されるなど、籠田公園は、従来にない公園活用が想定されていました。このため、地域住民や事業者、行政が公園のあり方やルールを話し合う「協議会」が必要となりその枠組みを計画するワークショップが開催されました。これを受けて「公園で行われるイベント等の情報を事前に地域に共有してほしい」というニーズが顕在化しました。

2. 同年に情報共有の受け皿と発信するために、7町連合が発足

地域課題解決が十分に進んでいない状況から、地域役員からの発意で「籠田公園周辺3町役員検討会」が発足。地域課題（防犯、防災、福祉等）の解決主体として、7町連合への期待が高まり、毎月1回の7町・広域連合定例会議を実施するようになりました。

3. 2020年11月 防災フェア実施

安全・安心なまちづくりのため、防災機器展示、炊き出し、防災体験（テント宿泊）等を通じて地域住民や市職員が交流しました。さらには地域包括センターと連携し**ごまんぞく体操体験会**を実施。（令和3年3月末現在、市内各地で195団体（60歳代～90歳代の方）が毎週活動を行っています。



2021年3月に「中央緑道」供用開始に伴い、4月会議時に、籠田公園、中央緑道、桜城橋の公共空間マネジメントの検討を民間（地域自治会会）として行うため、**KCBMと会議名称を変更**し現在に至ります。

4. KCBMとは

7町・広域連合会 ≡ KCBM

7町・広域連合会 = KCBM と言われますが違います。「KCBM」とは、「**KagodaPark / CentralAvenue / Bridge / Management**（籠田公園・中央緑道・桜城橋・マネージメント検討会議）」が正式名称となり、その頭文字を略称したものを指します。そのため、7町・広域連合会の相称では無く、定例会議の名称です。



7町・広域連合会のメンバーは各町内の総代が中心で構成されています。役員メンバーは7町の総代の中で会長が選出され、毎年交代されています。地域自治をテーマに、籠田公園、中央緑道、桜城橋周辺の使用マナー向上や防犯、清掃活動等が行われています。また、事務局が設置されていて、公的機関からの情報整理、KCBM参加者への情報配信、毎月の役員会、定例会の開催準備、街（籠田公園、中央緑道、桜城橋）のイベント主催者に対し、自治会として要望であったり、違反行為等の説明、街として、エリアの質を向上させる為のコントロールを行っています。上記エリア以外にも、「乙川リバーフロント交流拠点」の活用方法の検討や、東岡崎駅と周辺整備に対して、どの様な関わり方ができるのかを検討、福祉事業団との地域連携など、取扱う議論が高度化してきています。参加者構成は、地域自治会役員・エリア内新旧商業者・イベント実施者・行政関係課・教育機関・民間企業等、60-70名が参加しており、行政施策の説明および意見交換、専門家を招いた勉強会、学生の研究発表など、活発なやり取りが繰り広げられるまでになっています。

KCBMでの議論されている主な内容

下記以外に多岐にわたって議論しています

東岡崎駅ビル周辺開発事業



籠田公園・中央緑道管理体制



QURUWA戦略による、まちの活性化事業

QURUWAと、
東岡崎駅前地区に「QURUWA」を
展開し、まちの活性化を図ります。
www.kagoda-city.jp



地域イベント（お祭り）



乙川リバーフロント交流拠点事業



岡崎市福祉事業団との連携



5. 7町・広域連合会 加盟町エリア

7町・広域連合会 加盟町データ

[7町エリア]

籠田町・亀井町・伝馬1丁目・唐沢町・東康生・南康生・連尺通

[広域連合エリア]

連尺学区：連尺通・本町通1丁目・2丁目・3丁目・材木一丁目・康生通東・康生通西・康生通南

三島学区：唐沢町・明大寺本町・上明大寺

梅園学区：西梅園・伝馬通1丁目・2丁目・3丁目・亀井町・籠田町・祐金町・六地藏町

[7町エリア] 通称町別人口・世帯数データ

R4.2.1現在

通称町名	人口総数	世帯数
伝馬通1丁目	139	74
籠田	79	47
連尺通	127	56
唐沢	45	24
亀井1・2丁目	249	102
南康生	759	368
康生通東1・2丁目	200	119
合計	1,598	790

[広域連合エリア] 通称町別人口・世帯数データ

R4.2.1現在

通称町名	人口総数	世帯数
籠田	79	47
上明大寺	186	151
亀井1・2丁目	249	102
唐沢	45	24
康生通西	1,265	589
康生通東1丁目・2丁目	200	119
伝馬通1丁目	139	74
伝馬通2丁目	55	29
伝馬通3丁目	139	75
本町通1丁目	5	4
本町通2丁目	36	20
本町通3丁目	87	46
南康生	759	368
明大寺本町第1町内会	168	88
明大寺本町	324	173
祐金町	141	67
連尺通り	127	56
六地藏1丁目	114	66
材木1丁目	433	276
西梅園	143	62
合計	4,694	2,436

岡崎市統計ポータルサイト「通称町（町内会）別・世帯集計表（各月1日現在）」より抜粋

5. 7町・広域連合会 加盟町エリア

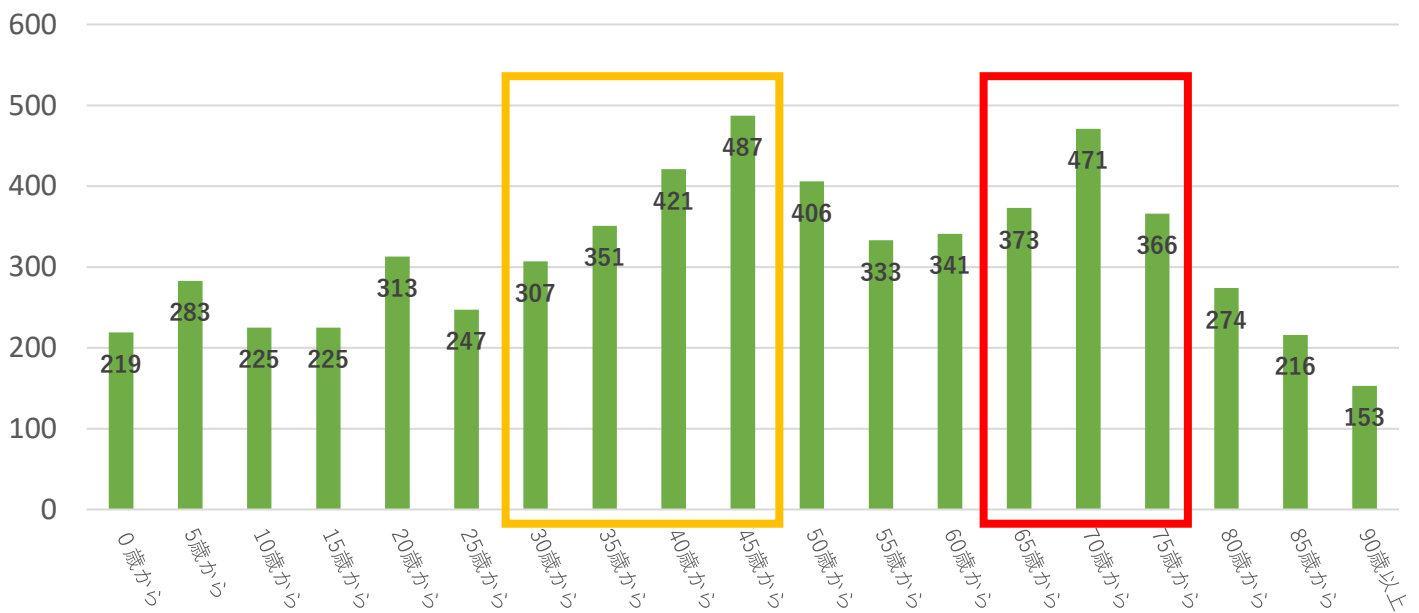
7町・広域連合会 加盟町データ

[7町・広域連合会 世代別データ]

R3.4.1現在

行政町名/区分	0歳から	5歳から	10歳から	15歳から	20歳から	25歳から	30歳から	35歳から	40歳から	45歳から	50歳から	55歳から	60歳から	65歳から	70歳から	75歳から	80歳から	85歳から	90歳以上	合計
亀井町	6	19	19	10	2	3	3	11	29	22	21	13	9	20	18	17	9	9	4	244
唐沢町	1	1	0	2	2	1	1	3	0	3	4	2	5	3	2	4	5	5	3	47
上明大寺町	0	0	0	2	3	2	6	1	2	2	2	3	1	3	2	0	3	3	0	35
康生通	98	105	63	49	82	68	102	135	137	130	129	95	94	93	98	65	67	44	26	1,680
材木町	23	18	22	35	65	52	43	41	37	71	40	48	37	36	73	54	41	26	17	779
梅園町	54	67	72	74	60	36	78	77	106	129	93	62	87	101	121	105	66	49	37	1,474
籠田町	0	3	0	0	6	3	4	4	6	2	1	5	4	14	9	3	7	2	5	78
伝馬通	13	24	27	33	33	28	14	28	41	56	54	40	39	43	55	55	24	36	25	668
本町通	2	4	1	3	5	6	9	1	1	12	15	7	12	6	12	14	10	6	4	130
明大寺本町	13	23	8	8	43	37	38	33	37	34	31	41	31	32	26	16	14	13	13	491
祐金町	3	8	5	5	7	5	4	9	8	10	1	9	6	7	18	10	11	10	6	142
連尺通	4	6	5	3	5	4	1	5	10	11	8	4	6	8	19	11	9	6	4	129
六地藏町	2	5	3	1	0	2	4	3	7	5	7	4	10	7	18	12	8	7	9	114
合計	219	283	225	225	313	247	307	351	421	487	406	333	341	373	471	366	274	216	153	6,011

町内会区分ではなく、行政区分町名のデータとなりますのでエリア内の目安としてお考え下さい。



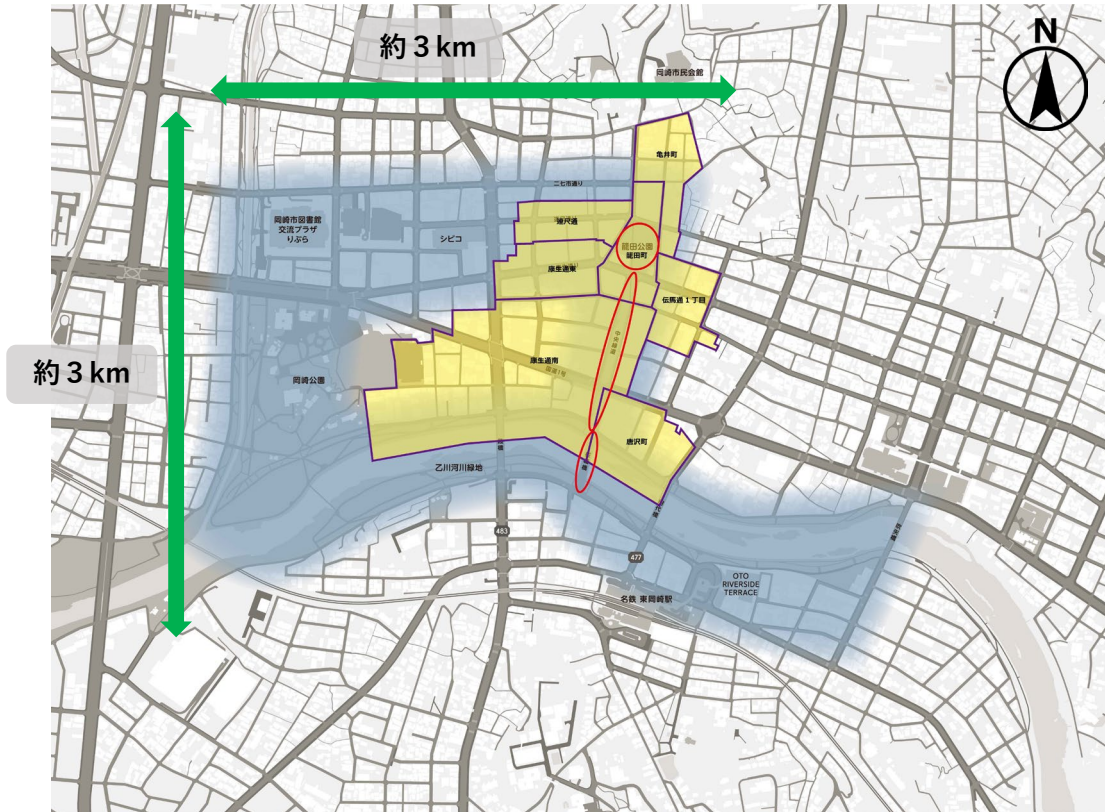
■ 7町・広域連合会 主要構成メンバー年齢層
■ 次世代の会 主要構成メンバー年齢層

岡崎市統計ポータルサイト「町別・年齢別（五歳階級別）人口」より抜粋

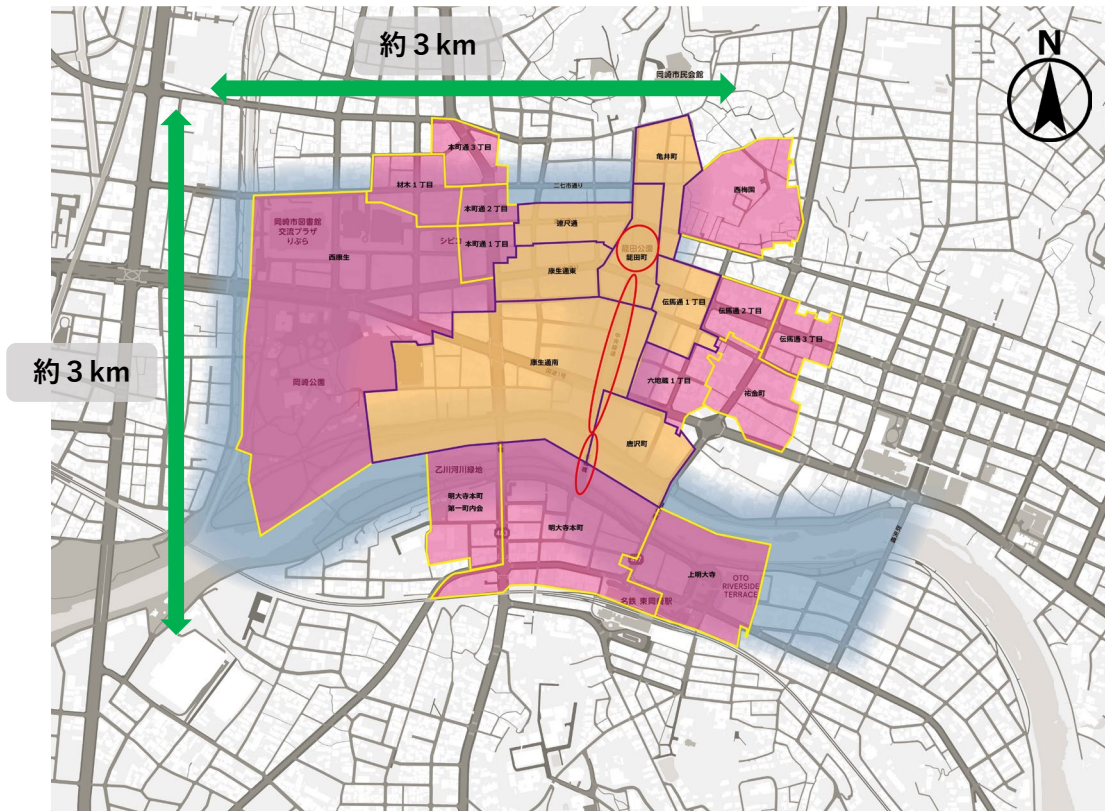
5. 7町・広域連合会 加盟町エリア

7町・広域連合会 加盟町MAP

[7町のエリア]



[広域連合会エリア]



6. まちの変化と世代交代

まちの変化

籠田公園のリニューアルあたりから「**エリアの雰囲気**」が変わりました。康生通西エリアを中心としたマンション開発により、30～40代のファミリー・60代からのセカンドライフ層が増え、これまでこのまちにいなかった層（おしゃれな親子連れ、若者など）が訪れるようになりました。それにより、エリアの価値が目に見えて向上し、地域にもともと住んでいる人たち（旦那衆の気質）の「**エリアのマインド**」も変わってきました。



地域自治の世代交代

7町・広域連合会の動きやQURUWA戦略のおかげで、まちの変化を感じられるようになる一方で、地域自治の活動をされている方たちの年齢が60代～70代が中心であり、かなり高齢化が進んでいます。さらには、今後5～10年後、地域自治を担い手が希薄になるという事は、全国的に言われていることですが、データとしてKCBM内で確認した事により、総代・役員の中で危機感がより強くなりました。一方で、地域自治に参加してみたい方や、潜在意識としてはあるが、参加の仕方が分からない30代～40代の世代もいる事も確認できたことから、その人たちが参加し易いプラットフォームを作る事により、地域自治に関わる人たちのすそ野が広がり、多世代で多種多様な運営が可能となり、高齢化問題を含めた地域課題に一役買う事ができるのではないかと、いう機運が高まってきました。



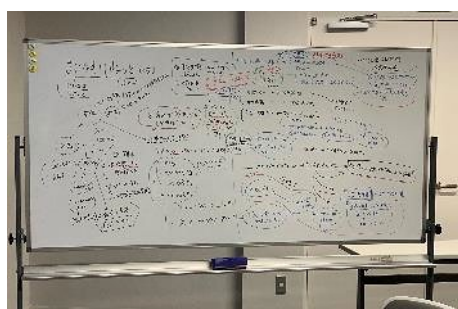
7. 次世代の会とは

次世代の会の誕生

きっかけは

高齢化問題と次世代の掘り起こし

総代・役員の中で後継者問題への危機感がより強くなる一方で、地域自治に参加してみたい若手もいる事から、30代から50代までの地域住民、エリア新旧商業者、新規出店希望者、イベント実施者、地域のお困りごとを解決したい人、地域包括支援センター、行政関係課・NOP法人・教育機関・民間事業者等が中心となり、プラットフォームをつくり、エリア内の課題解決やコミュニティビジネスとして、自発的にまちに必要な取組を提案、企画、協議する会議体を2021年8月より設置して活動を行っています。



次世代の会が設立されるまで

1. 7町・広域連合会事務局、行政関係課、代表候補者と検討

7町・広域連合会がKCBMで取扱う内容が籠田公園・中央緑道・桜城橋の3エリアからQURUWA全体のマネージメント検討に代わってきた事で、次世代の会として取扱う内容を整理しました。自主イベントの運営やエリアに対しての出店サポートや、お困りごと等の課題可決事業を次世代が行う事とし、自分たちのまちをこうしていくんだ、こうしていきたいという思いを持った人たちが集まり、2021年7月頃から7町・広域連合会役員会・事務局・次世代の会運営に携わるコアメンバーで準備を行い、翌8月に会議体を設立をしました。

2. 定例会設置

定例会は毎月第2週目の月曜日に行われている。設立段階では15名程度でしたが、会を追うごとに参加が増え続けて現在では40名以上で会議・運営を行っています。また、親会（7町・広域連合会）へは、原則的に報告義務はありますが、命令・指示を受けることはありません。



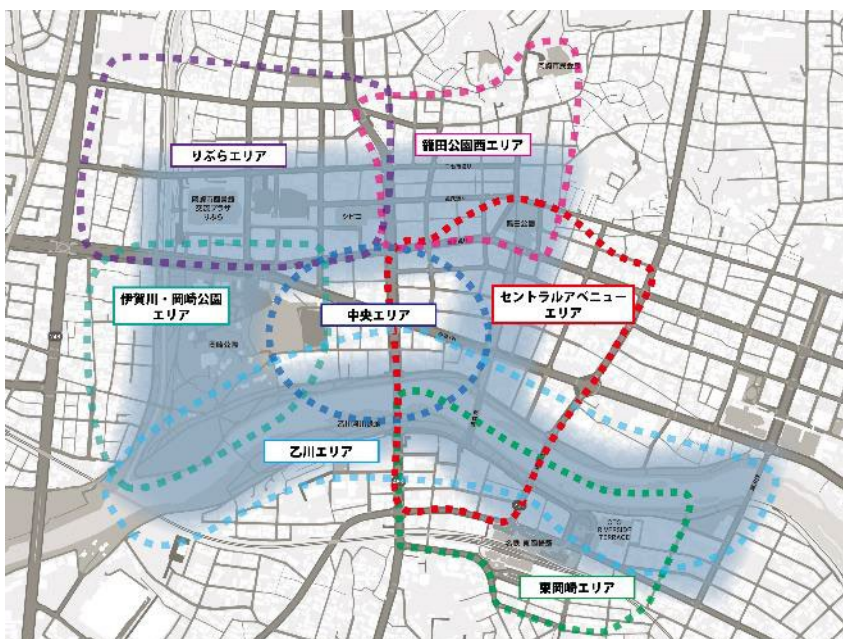
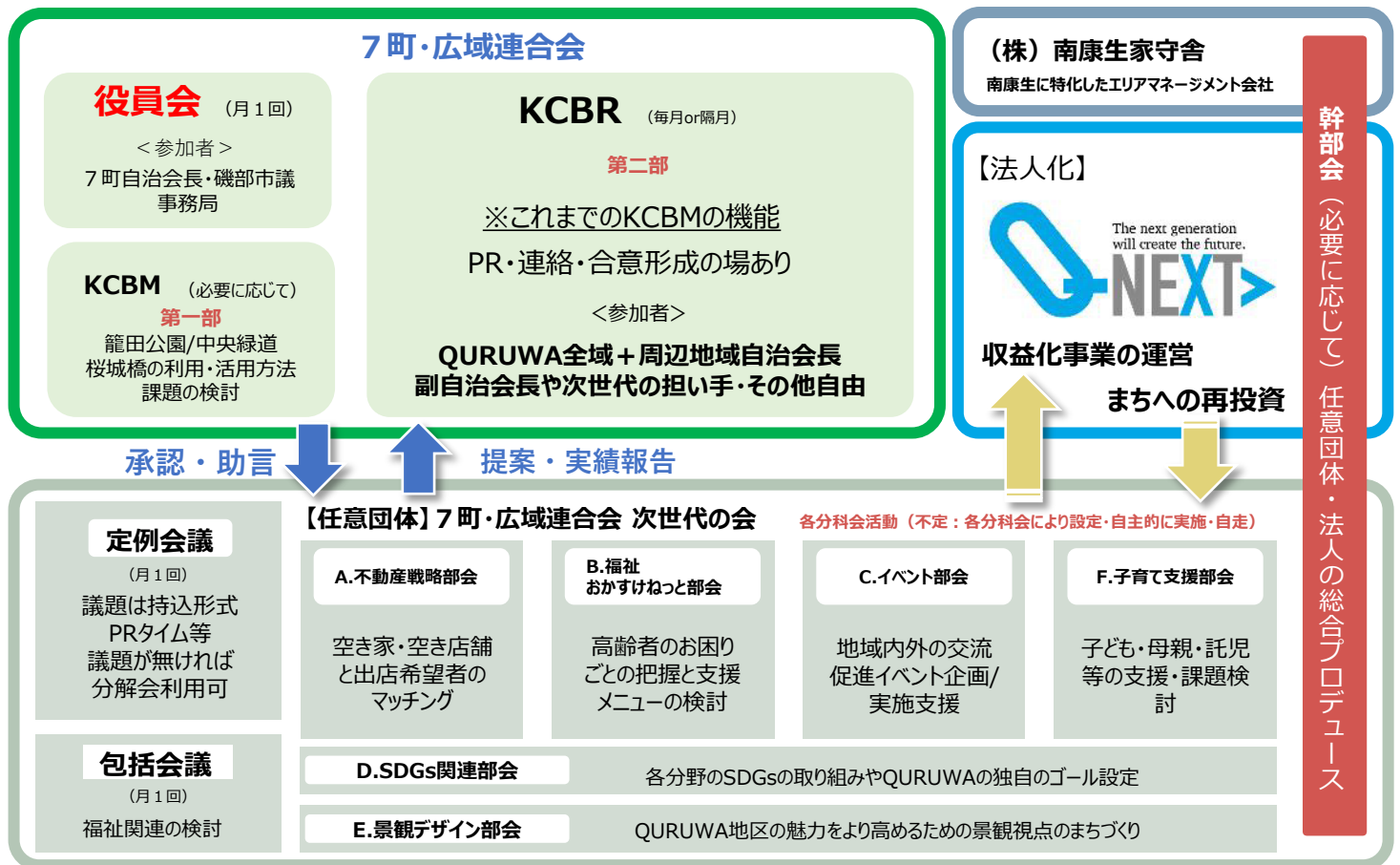
3. 分科会・プロジェクトチーム設置

現在の事業としては、出店希望者支援事業（空き物件のマッチング・ファンド事業（予定）、遊休不動産活用等）・生活支援事業（おかすけねっと）、イベント運営支援事業等をおこなっており、その都度、課題解決に向けた活動を行っています。

8. ビジョン

ビジョン

7町・広域連合会・次世代の会は、「まちの記憶を継承しつつ、新しい価値を創出」する事で、新しいコミュニティ形成、新規ビジネスの創出・雇用創出等含めた「暮らしの質の向上・エリアの価値向上」を図っていきます。また任意団体だと持続可能なまちづくりを行うにあたり。収益事業ができないことから、新たにまちづくり会社を設立して、収益事業を行いながら街へと再投資を行っていきます。



2023年度以降は各エリアマネジメントをより総合的にプロデュースしていく体制作りを関係各所と連携を図り、乙川エリアと、駅再開発がおこなわれる、東岡崎エリアとも、密な連携をとりながら、地域の課題解決をしながら、住民主体で、「暮らしの質を向上」と「エリアの価値の向上」を図っていく。

9. お問い合わせ先

参加希望や視察等の受入れについて

7町・広域連合会 / 次世代の会にご興味をお持ちいただきまして誠にありがとうございます。
会議や団体への参加希望ご希望の方は、下記事務局へお問い合わせください。

7町・広域連合会 / 次世代の会 事務局

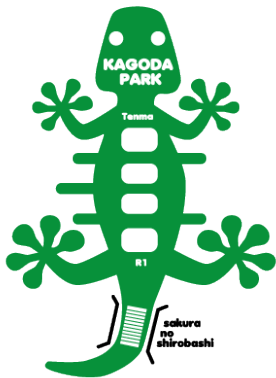
〒444-0044

岡崎市康生通南3-2 221ビル3F (株) MSA内

TEL : 0564-21-3393

FAX : 0564-21-4628

E-mail : info@msa221.com



GEKCO
Gard Environment Kagoda Comunity

7町・広域連合会 次世代の会